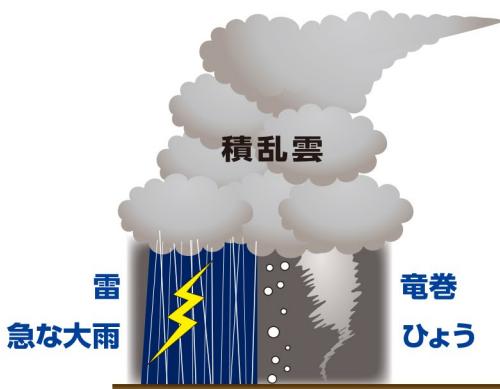


# 竜巻・雷対策

## 竜巻対策

発達した積乱雲からは、竜巻、ダウンバースト、ガストフロントといった、激しい突風や雷をもたらす現象が発生します。竜巻は、積乱雲に伴う強い上昇気流により発生する激しい渦巻きで、多くの場合、漏斗（ろうと）状または柱状の雲を伴います。直徑は数十～数百mで、数kmに渡って移動し、被害地域は帯状になる特徴があります。



### 積乱雲が近づくサイン

真っ黒い雲が近づいてきた

急に暗くなった

雷の音が聞こえてきた

急に冷たい風が吹いてきた

大粒の雨やひょうが降り出した

「竜巻」が間近に迫ったら…  
いろいろな物が猛スピードで飛んできます！

### 屋外では

- ・頑丈な構造物の物陰に入って、身を小さくする
- ・物置や車庫、プレハブの中には入らない
- ・シャッターを閉める
- ・電柱や太い木には近づかない

### 屋内では

- ・窓から離れる
- ・窓やカーテンを閉める
- ・丈夫な机やテーブルの下に入るなど、身を小さくして頭を守る
- ・家の1階の窓の少ない部屋に移動する

竜巻に遭遇した人からは次のような声を聞きます。  
このような場合には、あなたの身に危険が迫っています。

- ・雲の底から地上に伸びる漏斗（ろうと）状の雲を見た。
- ・飛散物が筒状に舞い上がるのを見た。
- ・ゴーという音がしたのでいつもと違うと感じた。
- ・気圧の変化で耳に異常を感じた。

竜巻注意情報（気象庁）

<http://www.jma.go.jp/jp/tatsumaki/>



## 雷対策

雷は、大気中で大量の正負の電荷分離が起こり、放電する現象です。

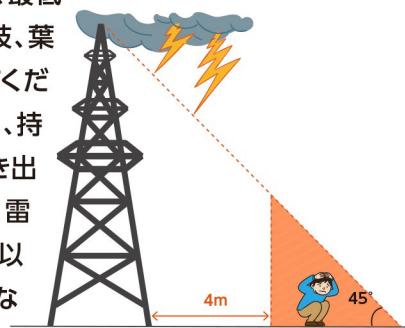
### 「雷」から身を守るには…

雷は、雷雲の位置次第で、海面、平野、山岳などところを選ばずに落ちます。近くに高いものがあると、これを使って落ちる傾向があります。グラウンドやゴルフ場、屋外プール、堤防や砂浜、海上などの開けた場所や、山頂や尾根などの高いところなどでは、人に落雷しやすくなるので、できるだけ早く安全な空間に避難してください。鉄筋コンクリート建築、自動車（オープンカーは不可）、バス、列車の内部は比較的安全な空間です。



### 安全な空間に避難できない場合は…

近くに安全な空間が無い場合は、電柱、煙突、鉄塔、建築物などの高い物体のてっぺんを45度以上の角度で見上げる範囲で、その物体から4m以上離れたところ（保護範囲）に退避します。高い木の近くは危険ですから、最低でも木の全ての幹、枝、葉から2m以上は離れてください。姿勢を低くして、持ち物は体より高く突き出さないようにします。雷の活動が止み、20分以上経過してから安全な空間へ移動します。



遠くで音がしたら  
すでに危険な  
状態です！  
安全な場所へ  
移動しましょう。



雷ナウキャスト（気象庁）

<https://www.jma.go.jp/bosai/nowc/>



### 停電情報公開サイト（東京電力）

停電地域、発生日時、停電件数、復旧見込み日時などホームページから停電情報をご確認いただけます。

